

あかあしん

わが町、わが店、この道一筋。出会いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbun.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC.GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525(代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (98) 岡田清治



■プロフィール

著者：岡田清治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創千二百年 いっばんさん行状記』『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX：0569-34-7971 メール：takamitsu@akai-shinbun.net



【写真】生けるものは必ず死を迎える(著者撮影)

姪の就職2

るり子は東京見物をしてというわけか、評価していない。

「私なんかはあの息子夫婦とは合わないですね」「どこがだ」

「何もかもですよ」

「だけど食事もよく進んでいたのではないのか」「食べるものがなかったから無理して食べたのですよ」

「嫌だったら残せばいいではないか」

「昔人間ですからそれはできませんし、おなかも空いていたのですよ」

「やはり親孝行と、とるべきではないか」

「まあ、二人とも元気にしていたから安心はしましたけど…この先わかりませんよ」

「考えてみれば、お前とは長い間過ごしてきたな」「本当に長いですね」

「俺は大病もしたが、るり子は入院を一度も経験していないな」

「私は生命保険にも入っていませんので、入院は絶対にしないと決めていました」

「君の両親をみてもほとんど入院していないね。うちの両親は何回か入院をしているよ」

「そうなの」

「これまで我が家のことは断片的に話してきたが、人生も第四コーナーを回って直線コースに入ってきたので、人生を振り返りながらじっくり話すよ」

「考えてみれば、ほとんど何も知らず、強引に結婚されたような感じでした」

「それでも離婚せずについてきたな」「仕方ないですよ」

「それだけ苦労したということか」

「両親と同居しなくてよかつただけでも、ありがたと思わないといけませんね」

「それでも介護は大変だったけど…」

真三は食事をすますと、最後のコーヒーを飲みながらるりに話しかけた。るり子もソファに腰をおろし、コーヒーカップを手に取った。

「お父さんが亡くなる時はどうだったのですか」

「そっだな。まず親父が亡くなる一週間前のことから話そうか」

るり子はコーヒーをすすりながら真三の語る話に興味深げに耳を傾けた。

「親父がなくなる一週間前、僕は親父が入院している中央病院の主治医から呼び出されていた。その頃、単身赴任で九州にいたが、相手が主治医だから休暇をとって病院に駆けつけた。」

「次男のかたですか？」

主治医が真三を眼鏡越しに見ながら声をかけた。年齢は五十に届くか、その手前の感じで落ち着いた様子で、椅子に腰を下ろして話しかけた。

「そうです」

真三は何を告げられるのか、多少、不安を覚えながら主治医の目を凝視しながら対面の椅子に腰をかけた。

「お父さんに聞くと、すべて次男さんに話してほしいということでしたので、急なことで申し訳ありませんでしたが、お父さんの容態について説明しておきたいのです」

「わかりました」

真三は突然のことでの心の準備ができていなかったが、一人で聞くしかないと思い、誰にも声をかけずに病院へ直行した。

主治医はしばらく沈黙を保ち、真三に顔を向けた。机の上のパソコンの画面に映っている白黒の胸のレントゲン写真を見入ったりしていた。

「実はお父さんの肺に水がたまり、もう手術やがて真三の方に顔を向けて話しかけた。

「どうこうでできる状態ではありません」「ということとは、そう長くないと…」

「だから、最期は家で看取られた方がいいと思いますよ」

融和な言い方だが、選択の余地がない強い意志で迫ってくるものを感じた。反論するにも、なにもない。真三は黙った。こんな時、長男が医師だから、対応してくれたら助かるのと思ったが、主治医が真三を指名してきたから仕方がないと悟った。同じ医師でも気心を知らないと、かえって難しいこともわかる。

病院に入る前に、弟の健太郎に電話を入れたが、仕事の手が外せないで、真三に任せると返事をしてきた。主治医からの話を聞いた後、親父のいる病室に入ると、健太郎の女房がベッドのそばの椅子に腰をかけていた。

「ごさたしてします。健太郎から電話がありました。兄さんが主治医に会いに行くので、手伝うように頼まれました」

「そうですか。ご苦労さんです」

「お兄さんこそ遠いところから大変でしたね」「主治医に呼び出されてね、どうしても来てほしいと頼まれたのですから…」

「そうですか」

「自宅で看取られたらと、言われました」「お父さん、何も食べないそうですよ」

「そうですか。今日、家に連れて帰るつもりです」

この頃は、弟夫婦は離婚していませんでした。真三が担当の看護師にお礼のあいさつをしている間、健太郎の女房は父を乗せた車椅子を押して玄関に向かった。

50メートルほど先の父の姿を見て、唖然とした。これまでの体型の半分しかないのだ。何も食べないということだから激痩せしたのだと思った。

父は死を意識しているのではないかと。日本では安楽死が認められていないので、死にたくても死ねない。何も食べないのは、食べる力がないのではなく、自分なりの安楽死の道を選んだのだろうか。それにしても人間がこんなに痩せられるのか。テレビで飢餓に苦しむアフリカの赤ちゃんの映像を見たことがあるが、ガウンを着ていてもほろりと痩せた体型がわかる。健太郎の女房は車椅子を止めて真三が追いつくのを待たせた。

「どうでしたか。何も食べないそうですよ」

「はい…」

「私も一緒にしましょうか」

彼女は戸惑いながら真三に尋ねた。

「いいですよ。あと乗るだけです。ご苦労様でした。健太郎によりよくお伝えください」

「はい…」

真三は後部座席に父親と並んで座った。体で父親の体を支えるようにして、何もしゃべることなく自宅まで約五十分ほどで着いた。玄関に入ると、お袋が心配顔で待っていた。

「今日、退院したよ」

「大丈夫なの」

抱えるようにして縁側で真三は父親を藤椅子に座らせ、自分も対面に座った。

「親父はいい人生を送ったよ。現役時代は苦労もあつたが、最後に大きな花を咲かせた。よかったな」「うん…」

父親を見ると、黙って目をつぶっていたが、うつすらと涙を浮かべている。親父は定年後、囑託を断り、作家生活を始めたが、原稿が売れない。独立することは原稿の売り込みも自分で行わなければ、誰もやってくれない。そのようなことは一番苦手であった。長い間、開店休業で苦しんでいた。文学賞もとった直後でないとその効能は薄れる。

親父の場合は、受賞が戦時中で、しかも三十年以上経っていたから、とくに世間からは忘れられている。

「親父、元氣出しゃ。がんばつてや」と励ましの声をかけた。このことがよほどうれしかったのか、本の中で感謝していた。

最期までほけることなく、枕元に岩波文庫の『中国名詩選』を置いていた。その中に「四夜四時歌(しやしいしの歌)があった。これを読んだかどうか定かたではないが、死ぬ直前の心境を感じた。

淵の水 厚さ三尺
素雪 千里を覆う
我が心は松柏の如し
君が情は復た何かに似たる

(冬の歌、淵には厚さ三尺の水がはり、白雪が千里のわたまでうめつくした。そうした厳しい寒さにもめげずに、青々と茂っている松柏のような愛情をわたしたちは抱えています。ところであなたはどうかですか。)

人は調子のいい人間、上昇中の人間には群がっていき、落ち目の人間にはそっぽを向く。サラリーマンを辞め、五、六年も月日が流れると、ほとんど音信も途絶える。

私の出会った作品 (36) 杉本武之

〔王子〕外国映画(その2)

◎『初恋のきた道』

去る4月5日(金)、NHKBSプレミアムで『初恋のきた道』が放映されました。もう3度も観た映画ですが、その日は朝から、始まるのが待ち切れませんでした。また泣くだろうなと思

いながら観ていました。案の定、後から後から涙が出てきました。

貧しい村で盲目の祖母と暮らす18歳の若い娘が、新しくやって来た20歳の青年教師に恋をする、というだけの単純な物語です。しかし、その青年教師を一途に恋慕う少女の姿に激しく心が揺さぶられ、涙が出てしまうのです。その対象が何であれ、一途に取り組む人の姿を見たり、聞いたり、読んだりすると、私はすぐ涙ぐんでしまうのです。

この純粋な恋を描いた『初恋のきた道』は、1999年に中国の映画監督チャン・イーモウ(張藝謀)によって作られました。同じ年に『あの子を探して』も作られました。失脚した教員を必死に探す臨時教師の若い娘の行動を描いたこの映画も私は大好きです。



『逢ひぎ』

に中国の映画監督チャン・イーモウ(張藝謀)によって作られました。同じ年に『あの子を探して』も作られました。失脚した教員を必死に探す臨時教師の若い娘の行動を描いたこの映画も私は大好きです。

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

に中国の映画監督チャン・イーモウ(張藝謀)によって作られました。同じ年に『あの子を探して』も作られました。失脚した教員を必死に探す臨時教師の若い娘の行動を描いたこの映画も私は大好きです。

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情

が、何度も何度も、四季折々の美しい自然の中で描かれます。学校が終わって子どもたちを送るために一緒に歩く青年教師を見ようとして、木々の間を隠れるように追いかける場面は特に情



洛東の清水寺



洛北の金閣寺(鹿苑寺)



洛北の金閣寺(鹿苑寺)

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! 鶏むね肉のつくね

とってもヘルシーで安価な鶏むね肉でふんわりつくねを作ります。お腹が気になるお父さんにもオススメです♡

- 【4人分】
 【つくね】
 ① 鶏むね肉…400～450g 玉ねぎ…1個
 しょうがペースト…8cmほど マヨネーズ…大さじ4
 ② サラダ油…適宜
 【タレ】
 ③ しょうゆ…50cc みりん…50cc 酒…50cc
 砂糖…大さじ1～2 (お好みで)
 ④ 片栗粉…大さじ1/2 水…大さじ3

1. ①をフードプロセッサーに入れ、スイッチを入れてよく練り合わせる。
 2. 強火で熱したフライパンに①を加え弱火にし、水にぬらしたスプーンで①をすくいフライパンに等間隔に並べる。中火～強火にし焼き目がついたら丁寧に返し両面焼き目をつける。
 3. 中まで火を通すため弱火～中火にし、ぶっくりふくらんで火が通ったら、ペーパーで余分なフライパンの油をとりぬいでから火を止める。
 4. 鍋に③を加え沸騰したら④をよく混ぜてから加えトロミをつける。
 5. ③に④を合わせ、ひと煮立ちしたら火を止め完成。



- ◎常滑市民文化会館
 ホール
 ▼バレエ発表会(九日) 開場午後一時 開演午後一時半
 (同日) 入場無料 問合せ 伊藤祐子 436469
 ▼スタインウェイひとりじめピアノリサイタル(十五日) 午後九時半～午後七時
 関係者のみ 問合せ 常滑市民文化会館 353111
 ◎常滑市民文化会館
 展示室
 ▼常滑市文化協会写真展(八日) 午前九時～午後九時※八日は正午まで あなたのギャラリ
 事務局 問合せ 常滑市民文化協会 352920
 ▼リアルを求めて(二日) 午前九時半～午後六時 第一展示室 問合せ 5080、1559524 (亀井輝男)

- ◎常滑市文化協会 第三十五回 評議員総会並びに表彰式(八日) 午前十時～同十一時半 第二展示室 問合せ 常滑市民文化協会事務局 352920
 ▼喜代一ちかき展(十二日) (水) 十六日(日) 午前九時～午後五時※十六日は午後四時まで 第一展示室 あなたのギャラリ 問合せ 伊藤祐子 436469
 ▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室(二十一日) 午前九時～同十一時 第一展示室 問合せ 常滑市民文化会館 353111
 ◎常滑市文化協会
 展示室
 ▼前田杯争奪知多地方中学校卓球大会(二日) 午前九時～午後九時※二日は正午まで あなたのギャラリ 事務局 問合せ 常滑市民文化協会 352920
 ▼ふるさとの歌 踊り講習会(十二日) 水(二日) 水(二日) 午後五時～午後六時 第一展示室 あなたのギャラリ 事務局 問合せ 常滑市民文化協会 352920
 ◎常滑市立図書館
 常滑市立図書館(川柳) 四日(火) 十三日(木)

- ◎山方書画作品展(児童・生徒の書画) 十四日(金) 二十五日(日) 午後五時～七月五日(金) 第二展示室 問合せ 常滑市民文化協会事務局 352920
 ◎常滑市立図書館
 常滑市立図書館(川柳) 四日(火) 十三日(木)

少人数での家族葬専用ホール
大阪屋リビング 常滑
 誠意を込めて安心のお手伝い
大阪屋葬祭
 常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール
 TEL0569-35-4949
 ●JA あいち知多農協葬祭祭の会協力店
 ●おーい知多協力店
 ●自治体葬祭祭の会協力店

知多の新鮮たまご
発酵ケイフン
 (有)知多エッグ
 知多郡武豊二ツ峯380
 TEL0569-73-6341

知多の哲学散歩道 Vol.15

「鈴溪義塾物語・溝口幹の思想③」

久田健吉 (哲学研究者)

しかし幹には夢がありました。命祺とつくる「鈴溪義塾」の夢です。小鈴谷村を村民とともに豊かにしていく村づくりのための鈴溪義塾の夢。そこで幹は泰山に申し出ます。「先生、やはり鈴溪の郷の教員になります」。それを聞いて、泰山は、「嗚呼、君は郷党の師となるか」と言います。この言の中には泰山の万感の思いが込められていると思います。そして幹の「先生、俯きて言なし」の無言の中にも。

師範学校の目標はいい先生を養成することですので、幹が卒業して鈴溪義塾の先生となることは泰山にとっては本当は喜ばしい事なのです。しかし泰山は幹にこの師範学校でまだ頑張らなければならぬのだと。そのため、幹の申し出を聞いて心から喜べない自分に恥じ入ります。「本当は喜ぶべきなのに、残念などと言ってごめん。改めて言おう。おめでとう。頑張って下さい」と。これを聞いて幹は何も言えず「先生、ありがとうございます。頑張ります」と心で誓い、無言で別れたのだと思います。

この部分を読むと、私はいつも胸に熱きものを覚えます。私には、この離別の会話は溝口幹が盛田命祺の薫陶に応え盛田命祺とともに歩む決意の会話と思え、そしてこれが結果として小鈴谷村を「徳これ香る」郷にしていくことになっていくのです。

さて、溝口幹の教育がどれほど素晴らしかったか。『溝口幹先生小傳』は次のように伝えています。

数十年に及ぶ鈴溪義塾において先生の門弟子は千有余になるが、その中で、大学(帝国大学)卒業生12人、専門学校(旧制)卒業生24人、中等学校(旧制)卒業生93人、大学在学の者3人、実業家・地方有力なる人士数百人を輩出している。半田・大野以南一帯の有力なる人士にして先生の徳風を蒙らざる者稀なり。

この引用文で、特に「有力なる人士」の語に注目してほしい。この語は金を儲けた人を指す語ではありません。村々で人々に対し有力な働きをしている人を指しています。鈴溪義塾は村々のリーダーとして活躍している人を多く輩出しています。全くの納得です。

では、溝口幹自身は自らの教育をどう語っているのでしょうか。1908年の『溝口先生頌徳記念一附鈴溪同窓会報告書第12回』に出ています。

我が校より出でて今日既に立派なる位置にあられる方々は、みなその人々の器量にして私の決して与えたる所ではありません。

何と謙虚なことばでしょうか。この中には教育の真実が語られています。この語からは「初等にて人間の土台を築いてやれば、人は持って生れた器量を磨いて成長していくという確信を持ち、それを磨く努力はその人において、その成果はその人のものと考え、私は卒業生たちの成長を暖かく見守ってきただけです」という思想が見られます。私は学問の真実の道を説いただけ頑張ったのは皆さんで皆さんが偉いのです。

溝口幹は小学校教員として努力しただけではありませんでした。深く学に志す者には私塾と称し夜自宅に招き更に指導したのでした。その成果は先に示した通りです。

溝口幹についてはまだまだ書きたいことがたくさんあります。特に細井平洲との関係はまだ充分には書いていません。卒業生たちが幹先生を讃える語に「師表」という語を使っています。幹が学問を語るに、細井平洲の言でもって語ったからでしょう。細井平洲の『嚶鳴館遺草』や『嚶鳴館遺稿』にはこの「師表」という語が頻出しています。師表の意味は深長です。

以上で、村民とともに生きた盛田命祺の期待に応え、村民とともに生きた溝口幹による鈴溪義塾物語を終えることにします。



カワアナゴ(ハゼ科)

昭和三十三年十一月号)知多半島の池や川にすむ魚を、学生生活最後の卒業論文として纏め、記録として残してから、もう三十五年の歳月が過ぎました。その記録によると、当時知多半島には、十三科三十三種類の淡水魚がすんでいました。

知多の動植物雑記(一) 原 穰

どう猛で、小魚やエビを食い荒らします。豪快な釣りを楽しみはいいけれど、淡水の魚をめぐる私は、いま悩んでいるのです。でも自然の力はすばらしく今でも時折り、新顔の魚が現れてくれます。カワアナゴもその一種で、今年の夏の初め、半田市の神戸川下流で、高校生の榎原圭志君が採集しました。カワアナゴは、水槽の中でも日中は砂の中にもぐり、夜間えさをとるために活動します。頭から背にかけては平らで、通常は背面が淡褐色、腹側は暗褐色ですが、周りの環境によつて全体が暗色になる、大型種の変種もいます。

昭和三十三年十一月号)知多半島の池や川にすむ魚を、学生生活最後の卒業論文として纏め、記録として残してから、もう三十五年の歳月が過ぎました。その記録によると、当時知多半島には、十三科三十三種類の淡水魚がすんでいました。

5月 食べに行つた。知人Nは可愛いペンダント。私に「おめでとう」と言われたけれど、絶対にあげない。知人Nにはペンダントを食わせよう。知人Nにはペンダントを食わせよう。知人Nにはペンダントを食わせよう。

若竹俳壇 麦の穂も活け花の材華道展 青葉映ゆ令和の年初句会 窓開き新緑の中令和句会 葉桜や歩き道路の異邦人 夏潮の恵みに生きた大八州 万物の命を若葉若雨 墨をすり運筆平成一の春車道筋にさつき満開里明けの 子どもの日救えぬ子もある時代 花吹雪野点の席の華やかに 春まつり幼き神子が神に舞う 手作りの鏡かぶとの端午舞う 春模様の照る降る曇る七変化 思い切り派出に装う昭和の日 元号と新札発表春満開 朝刊の令和一号は令和なり 風光の令和一号は令和なり 若葉風大々々となった孫をハゲ 春最先急いそぎの万葉集 春最中急いそぎの万葉集 野茨や栄華の名残り鹿野舎 平成に別れを惜しむ花は葉に 祝い声と声わき上る春の膳 あれこれ迷うて食す穴子并 燕の子勉強部屋を覗きもし 丹精のバラの香の気高きよ

- 常滑市ママさんバレーボール大会(二十三日)
常滑市ミニバスケットボール大会(二十三日)
常滑市バドミントン大会(三十日)
南陵公民館
南陵デイサービスセンター
常滑市公民館
知多市こども未来館
常滑市公民館
常滑市公民館

- 常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館

- 常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館
常滑市公民館

わが家のニューフェイス



伊藤結菜(2才) 伊藤 絢香(4才) 武豊町

写真・文	ちやん、ずと仲良く遊ぼうね。	ら、いっばい食べなさい。	姉ちゃん、一緒遊びたいか。	よ。もど大きくなると早くお	ト！バナナとおにぎりも大好きだ	優しいの。好きになれるし、	絵本も読んでくれるし、	ばいばい遊んでくれるし、	やんが大好き！	菜です。私はお姉ちゃん	こんにちは。妹の結
------	----------------	--------------	---------------	---------------	-----------------	---------------	-------------	--------------	---------	-------------	-----------



愛とMy Family



三澤陽依(1才4ヶ月) 常滑市原松町

写真・文	を伝えられたらいいな。	らちゃん、ありがとう。	作って友達にあげたい。	私もお友達にあげたい。	と、私もお友達にあげたい。	沢山の気遣い、優しいさ、ありがとう。	お腹の中にいる時、電車や街中で	出来たよ。私の母さん、友達も	て、新しいお友達も	年常滑市に引越ししました。	前はひよこで、私の	初めまして。私の名
------	-------------	-------------	-------------	-------------	---------------	--------------------	-----------------	----------------	-----------	---------------	-----------	-----------



短時間で高収入!!空いた時間で収入アップ!! 他のお仕事との掛け持ちもOK!

スタッフ大募集!



毎朝、決まったお宅に、スクーターや自転車で新聞を配達する仕事です。未経験でも大丈夫◎ 実働1時間程度。道に詳しくなくても、配達先は毎日同じなのでスグに覚えられます。おひとりですべてに配達業務をこなせるようになるまでは、先輩スタッフがしっかりサポートするので、安心してご応募下さい!

正社員:月給/200,000円~ パート:時給/900円~

業務内容

- ①配達員(朝刊または夕刊) ②事務員 ③スタッフ(集金担当)

勤務時間

- ①AM2:30~AM5:00(朝刊) PM3:00~PM5:00(夕刊)
- ②AM9:00~PM5:00
- ③応相談

勤務日数

正社員 週休1日 パート 週3日~OK

※詳細は担当 赤井までお気軽にお問合せください

中日新聞 あかい新聞店 武豊 0569(72)0356 常滑 0569(35)2861



ほくもわたしも新聞デビュー

中日こどもウィークリー

ぼくのわたしの新聞で「考える力」、「集中力」を身につける! 親子で読んで楽しんで学べます!

- バラエティー スタディー
- ずかん チャレンジ
- ニュース ファミリー
- 歴史マンガ

一緒に学ぼう!



毎週土曜日のお楽しみ! 月額463円(税込)

大切な思い出がふくらむ新聞、贈ってみませんか?

思い出新聞

明治39年11月6日以降のご希望日を選べます

※紙面データがない場合「新報知」でのお届けとなります ※休刊日の場合は夕刊または翌日朝刊となります

お誕生日、ご結婚、成人式、父の日、母の日、敬老の日などのお祝い、記念品にどうぞ

中日新聞販売店にてのお申し込みがお得!!

- 1面と社会面 (2枚セット・送料・税込) 通常価格 800円 600円
- 1面または社会面 (どちらか1枚・送料・税込) 通常価格 600円 400円

ご自宅までお届けいたします!



「中日春秋」で学力アップ!? 人間力もアップ!?

- 「中日春秋」の書き写しは学力アップ・人間力アップの第一歩です。
- 総合的学力 ...すべての教材の学力アップの土台に!
- 応用的学力 ...問題を正確に把握する力・解答の解説を適切に読み込む力
- 基礎的学力 ...読解力・語彙力・集中力・注意力アップ
- 日常的習慣 ...「中日春秋」書き写しよむだけでも◎!書き写せば◎!

人間力アップ!!



中日春秋書き写しにチャレンジしよう!

中日春秋書き写し専用ノート 1冊(1ヶ月分)

108円(税込)

各種お問合せは あかい新聞店まで 武豊店 ☎72-0356 常滑店 ☎35-2861